

活動報告

第26回難聴・補聴器よろず相談会



日時 平成31年3月3日 午前10時から正午

場所 川・森・文化交流センター（山県郡安芸太田町大字加計 5908-2）

主催 日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会

2019年3月3日耳の日に合わせて、例年通り第26回目にあたる難聴・補聴器よろず相談会が行われました。

耳鼻咽喉科医師として県立広島病院小児感覚器科から益田慎医師、広島大学病院から石野岳志医師、藤田陸登医師、服部貴好医師、県立広島病院から伊井冨貴子言語聴覚士が出席し、難聴および補聴器の相談を受けました。

当日は雨でしたが60歳から91歳までの男性8名、女性13名の計21名の方が相談に来られました。

難聴者および補聴器希望者が相談に来られ、難聴に対する対応や補聴器の装用について相談が行われました。

相談者の多くは軽度難聴から中等度難聴の方で、補聴器の装用を行っていない方がほとんどでした。内3名は身体障害者に該当する程度の難聴があり、身体障害者手帳についての説明も行いました。

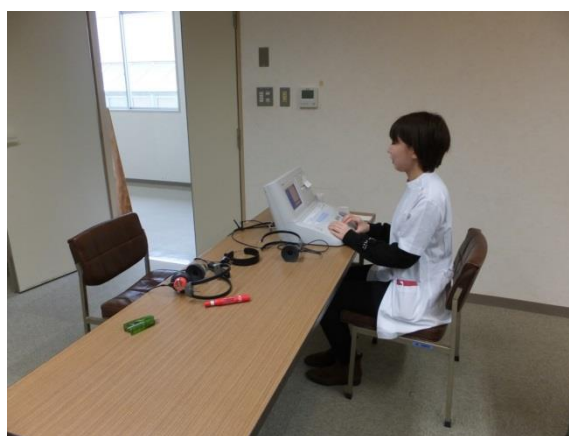
補聴器を試したい方に関しては、補聴器販売店の補聴器センターアイおよび東神実業からの認定補聴器販売員の方が補聴器の調整および対応を行い、補聴器の試聴を行っていただきました。

みなさん難聴に関して困っておられ、よろず相談会にて難聴の相談を受けられたことで満足されているようでした。

（文責 石野岳志）



（写真1）受付、問診票の記入



（写真2）聴力検査

(写真 3, 4) 医師による診察

右：写真 3

下：写真 4



(写真 5, 6) 認定補聴器技能者による補聴器の調整、試聴



上：写真 5



左：写真 6